

学力・学習状況調査に係る効果的な取組事例（小学校・国語）

宮代町立笠原小学校

1 本校の概要

(1) 埼玉県学力・学習状況調査の結果等

学年	伸びた層			本事例で取り上げた観点				左記以外に取り上げた主な取組
	上位層	中位層	下位層	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
5			○		○		○	補習プリント作成と集中補習の実施

※「伸びた層」は、一番伸びた層に『○』。各層において同じ伸びの場合は、複数の層に『○』。

(2) 伸びた結果の要因、背景

- ・教師が問題を解き、児童がなぜ解けないのか、何が困難であるのかを知り、指導に生かせるようにした。
- ・全職員で児童一人一人の結果を分析し、4～6年の児童が苦手とする問題がどのようなものであるかを把握した。1～3年生の時期に指導の強化が必要である内容も確認し、共通理解をして指導を行ってきた。
- ・3学期に約2週間パワーアップ・チャレンジ週間を設定し、定着不足の内容を補習し理解の強化に努めた。
- ・与えられた条件を満たして文章を書く活動を繰り返し行った。
- ・過去問題に取り組みさせたことで、調査の形式に慣れ、最後の問題まで行うことができる児童が増えた。

2 具体的な取組

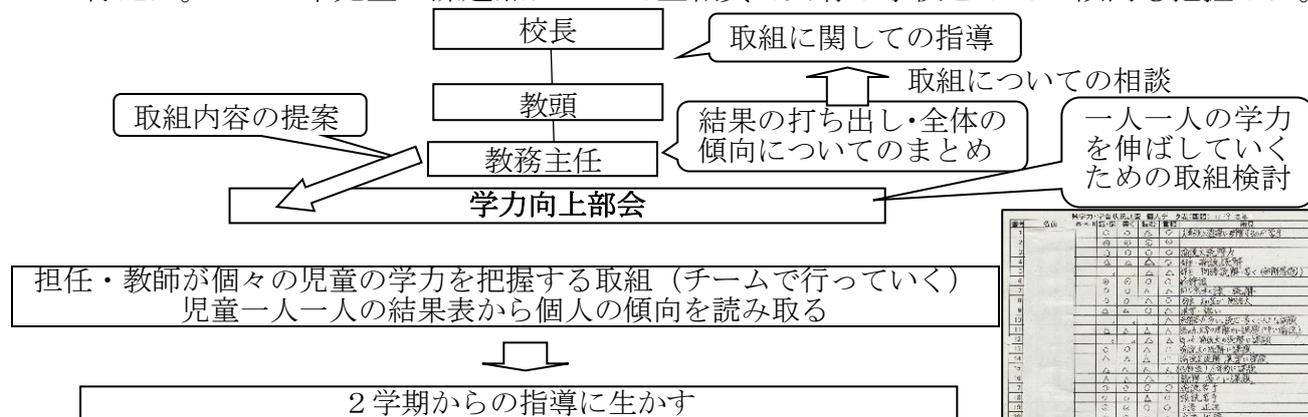
(1) 教育委員会との連携による取組

- ・年に3回「宮代町学力向上検討委員会」が開催され、各校の学力向上のための取組を紹介し合い、よい取組を取り入れられるようにしている。
- ・宮代町としての目標「A問題 80%以上の正答率」「50%未満の正答率の問題 3割削減」を掲げ、学力向上に向けて取り組んでいる。
- ・有識者による講義を受け、指導に生かしている。

(2) 本校独自の取組

- ・全職員での問題の分析・結果の分析（夏季休業中）

1年と4年、2年と5年、3年と6年の担任が組み、児童一人一人の学力の分析を行った。個の分析から、学級・学年の傾向も見だし、一斉・個別の指導に生かせる分析が行えた。4～6年児童の課題点について全職員で共有し学校としての傾向も把握した。



- ・パワーアップ・チャレンジ週間での補習の実施

学力調査の結果分析に基づいて、どのような補習が学力向上に効果的であるか、「学力向上部会」で検討した。基礎・基本の問題を中心に「全員に理解させる」ことを目指して補習プリントを作成し実施した。

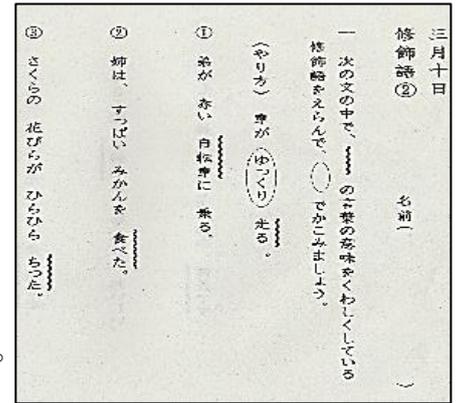
【個人分析一覧表】

3 成果と課題

(1) 児童の変容した（伸びた）姿について

① 教員の見取りから

○「文章の構成要素」・「修飾語と被修飾語」等の理解が深まった。小単元取り扱い、繰り返し学習する機会があまりない内容の集中的補習と日々の学習での意識した指導の必要性を確認した。パワーアップ・チャレンジ週間での集中補習、全教員で問題を解き、児童の学力を把握した上での意識した指導により基礎基本の定着が昨年度よりも図られ、効果を表したと感じている。
△長い設問文を読み、何を問われているかを理解して自分の考えを文章に表現していく力に課題がある。



【自作補習プリント】

② アンケート結果から

○過去問題を数回行ったことで、どのような調査なのか、問題の傾向や解くための時間配分がわかり、昨年度よりも解答できるようになった。
○毎日の授業で「ノートに書く」という活動をしっかり行ってきたことで、億劫がらずに書く活動に向かうことができた。

(2) 分析結果を受け、これからの実践に向けての課題

① 授業の充実・指導力の向上

- ・授業者の日々の自己評価
- ・外部指導者による指導
- ・ハイブリッド研修での教員相互の学び合いを行う。

② 「読む能力」の向上

- ・読書の励行
 「全校で5000冊」「お気に入りの本3冊」
 「親子 de 読書」「読書週間」
- ・テーマに沿った読みを行う活動を進める。

③ 「聞く能力」の向上

- ・普段の授業規律の徹底
- ・話の内容を捉えて聞かせる活動
 (校長講話から自分の考えをまとめて書く)の推進をする。

④ 「学ぶ力」の向上

- （「見えない学力」を高める・学級経営の充実・特別活動の推進）

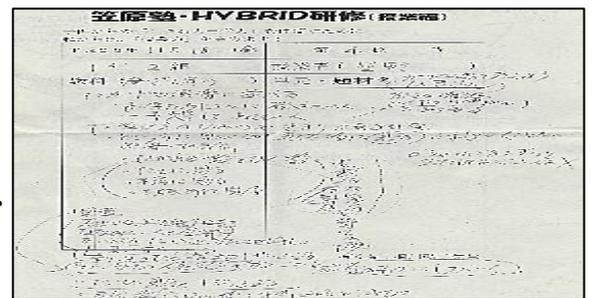
⑤ 補習機会の確保

- （パワーアップ・チャレンジ週間 年1回1週間
を年3回1週間ずつに増やす）

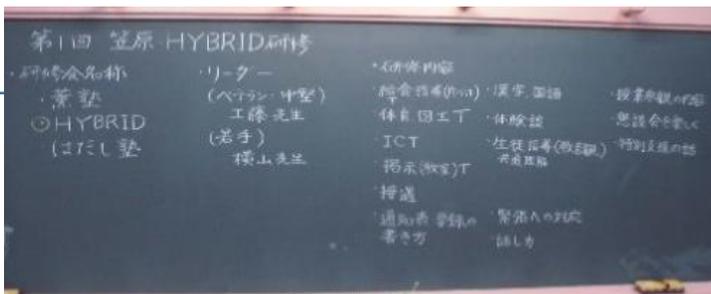
見つけ、気づき、考え、行動する！ 近頃小学校現場の現状「自分からできる一歩」までできる 最後までできる！		授業者の自己評価	
授業者の基礎基本 Self-Check	★児童の学力向上は日々の授業から！ 日々の授業・生徒生活を見直し、授業を改善させるには授業を	達成率	◎・○・△
① ねらいの明確化提示			
② ねらいの明確化提示 (知事の良い学習や、目標のある学習のポイント)			
③ 授業進捗づくり (整理整頓、意欲を高める提示の工夫)			
④ ひとりひとりで考える時間の確保 (ここが個に応じた支援)			
⑤ 思考をつなぐ話し合い活動 (言語活動の充実・・・言語や母語で話せる)			
⑥ 振り返り・まとめ (自分の授業で書く・ノート指導へつなぐ)			
⑦ 教員生活の振り返り (教員生活の振り返り)			
⑧ 研修を日々の自分につなげる・実行につなげる			

日報	12月13日(火)	日直	〇	〇
(朝の活動)	(朝の活動)	人数	0	0
10-15分程度	学校の時間	1	2	3
(行事)		1	1	1
1年		1	1	1
2年		1	1	1
3年		1	1	1
4年		1	1	1
5年		1	1	1
6年		1	1	1

【日報による授業自己評価の励行】

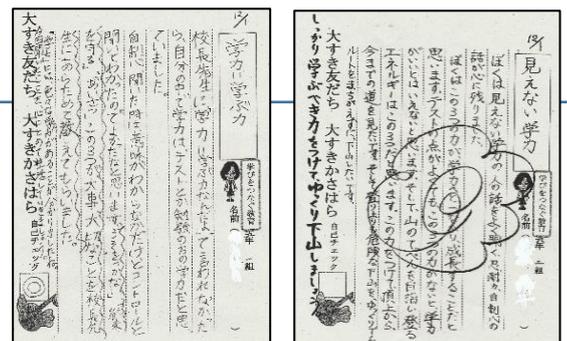


【外部指導者による指導記録
2学期算数指導・3学期国語指導】



【第1回 HYBRID 研修

～これから学び合いたい内容～】



【校長講話・児童の考えのまとめ】